

■特別講演

●特別講演会場 9:50~11:20

テーマ 「私たちが創ってきた未来と創っていく未来」

講師 東京医療保健大学 副学長
千葉看護学部 学部長

宮本 千津子 氏

座長 公益社団法人千葉県看護協会
常任理事 長谷川 美穂

○講演概要

皆さん、EBPという言葉はご存じでしょうか？EBM（Evidence-Based Medicine：根拠に基づく医療）は耳慣れていると思いますが、EBPはEvidence-Based Practice：根拠に基づく実践のことです。EBMと同様に、経験や勘に頼るのではなく、研究等で得たデータに基づく客観的な判断による実践を指しますが、EBMで言う医療よりも広い範囲を示す概念です。看護が必要とされるのは、医療現場に留まらずあらゆる生活の場であり、協働するのも保健医療の専門家に加え、患者、利用者や家族、地域で暮らすすべての人と、それを支援する人です。その人々にとって最も効果的で確かなケアを提案・提供することがEBPです。

しかしEBPという言葉は使わなくても、看護職は学生時代から根拠のある看護を行いたいという強い思いで、日々研鑽を続けてきました。最近の教科書を読むとその内容の発展に驚かされます。そこには私たちが創ってきた新たな根拠が、確かな判断とケアを支えるものとして記載されているからです。皆さんの研究結果は、学生にとっての基礎的知識となり明日の看護を確かなものとしめます。そして、さらには医療政策をも動かし、人々の未来を支える根拠となるでしょう。講演では、私たちの力で実現する未来の姿を描きたいと思います。

○講師プロフィール

宮本 千津子 （みやもと ちづこ）

千葉大学看護学部卒業、同研究科修士課程修了。聖マリアンナ医科大学病院勤務。東京大学大学院保健学研究科博士課程修了。川崎市立看護短期大学、岐阜県立看護大学、東京医療保健大学医療保健学部を経て、2017年度より現職。看護マネジメント学専攻。複数機関において認定看護管理者研修等講師および看護研究支援を行う。現在の研究のテーマは、看護職者の能力発揮を支援するマネジメント、地域包括ケアに資する看護人材の育成、等。